

業務用建物床面積の推移

平成 21 年度の業務用建物床面積は 18 億 3,283 万㎡と推計された。伸び率は平成 20 年度の前年度比 1.3%増を下回る前年度比 0.8%増となった。

「事務所ビル」の床面積は 4 億 7,473 万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比 25.9%を占める。伸び率は前年度比 0.7%増となり、前年度（同 1.2%増）を下回った。事務所ビル全体の約 8割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積は、前年度比 1.1%増と、この業種の中で最も高い伸び率となり、堅調に推移している。

「卸・小売業」の床面積は 4 億 6,507 万㎡で、全体の 25.4%を占める。伸び率は前年度比 1.2%増で前年度（同 2.3%増）を下回った。内訳を見ると、卸・小売業の約 8割を占める非木造の店舗は、同 1.4%増と前年度（同 2.9%増）を下回ったが、引き続き増加。一方で、木造は併用住宅、店舗ともにここ数年の傾向どおり、伸び率はそれぞれマイナス（同 0.6%減）、横ばい（同 0.1%増）となった。

「学校・試験研究機関」の床面積は 3 億 6,253 万㎡で、全体の 19.8%を占める。伸び率は前年度比 0.4%増と前年度（同 0.1%増）を上回った。内訳を見ると、大学が前年度比 2.2%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学（同 3.1%減）、高等学校（同 0.2%減）、試験研究機関（国有等）（同 0.9%減）の減少傾向が続いている。

その他の 5 業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比 1.9%増、「その他サービス業」は同 1.2%増と堅調な増加を続けている。一方で「飲食店」は同 0.6%増、「ホテル・旅館」は同 0.2%増、「劇場・娯楽場」は同 0.3%増と低い伸びとなった。



